

会議録

会議の名称	令和3年度 第1回 枚方市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和3年10月13日（水） 10時00分から
開催場所	対面とオンライン併用のハイブリッド開催 （枚方市上下水道局管理棟4階大会議室）
出席者	真山会長、八木 俊策副会長、笠原委員、西園委員、中島委員 八木 悦子委員、山城委員、渡邊委員
欠席者	浦上委員、西浦委員、名倉委員
案件名	1. 枚方市水道ビジョン2022・枚方市下水道ビジョン2022の策定について
提出された資料等の名称	資料1 枚方市水道ビジョン2022・枚方市下水道ビジョン2022の策定について 資料2 枚方市水道ビジョン2022（素案） 資料3 枚方市下水道ビジョン2022（素案） その他配布資料 枚方市上下水道事業経営審議会 委員名簿 上下水道局 出席職員等一覧 会場配席図
決定事項	1. 枚方市水道ビジョン2022・枚方市下水道ビジョン2022の策定についての説明を受け、素案の内容を確認した。 2. 次回開催日程及び開催方法については事務局から調整のうえ決定することとした。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
傍聴者の数	2人
所管部署（事務局）	経営戦略室（計画担当）

1 開 会

真山会長： ただ今から、令和3年度第1回枚方市上下水道事業経営審議会を開催いたします。まず、事務局から連絡・報告事項をお願いします。

事務局： 委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。私は、本審議会の事務局を担当します経営戦略室課長の田中でございます。よろしくお願い申し上げます。

 本日の審議会開催については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対面とオンラインの両方の手段においてご参加いただくこととなりました。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

 それでは、まず、今年度の第1回審議会の開会にあたりまして、枚方市上下水道事業管理者の伊藤竹彦よりご挨拶申し上げます。

伊藤管理者： 上下水道事業管理者の伊藤でございます。どうぞ、よろしくお願いいたします。委員の皆様におかれましては、ご多用の中、本審議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

 昨年度は、「水道料金における大口需要者割引制度」及び「枚方市下水道整備基本計画の策定」、「枚方市上下水道ビジョンの改定」について、また、施策評価、経営評価についても貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

 さて、水道、下水道事業の経営環境は、今後も予測される人口減少などによる水需要の減少や新型コロナウイルス感染症による水需要の変化が、収益に大きな影響を与えるものと危惧しています。その一方で、先日、和歌山市で発生しました水管橋破損事故がニュースなどでも大きく取り上げられており、本市でも老朽化が進んでいるインフラの備えとして、施設の計画的改築・更新への対策が最重要課題であると考え、進めているところでございます。

 本日は、昨年度から引き続き準備を進めております「枚方市水道ビジョン2022・枚方市下水道ビジョン2022の策定」につきまして、ご審議いただきたいと思っております。委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

事務局： ありがとうございました。伊藤管理者は、この後、公務のため、ここで退席させていただきます。

 次に、審議会の定足数についてでございますが、本審議会の委員は11名でございます。本日は、8名の委員にご出席いただいておりますので、審議会条例第7条第2項の規定により、本日の会議が成立していることをご報告いたします。恐れ入りますが、以後、着座にて進めさせていた

できます。

次に、本日の資料の確認をさせていただきます。資料番号を記載しておりますが、まず、「次第」、次に、資料1「枚方市水道ビジョン2022・枚方市下水道ビジョン2022の策定について」でございます。資料2「枚方市水道ビジョン2022(素案)」でございます。資料3「枚方市下水道ビジョン2022(素案)」でございます。また、その他配付資料としまして、「枚方市上下水道事業経営審議会 委員名簿」「上下水道局出席職員等一覧」、「会場配席図」以上でございます。資料の不足等はございませんでしょうか。

次に、本審議会の委員でございますが、令和2年度末で、北大阪商工会議所中小企業相談所所長の高田稔委員と大阪広域水道企業団東部水道事業所長の谷野聡委員が退職に伴う解嘱となっております。

新たな委員もおられますので、ここで委員のご紹介に移らせていただきます。それでは、先ず、同志社大学政策学部教授の真山達志会長でございます。摂南大学名誉教授の八木俊策副会長でございます。

続きまして、通常であれば、名簿に基づき、順次、ご紹介をさせていただくところですが、新たに就任された審議会委員を先にご紹介させていただきます。北大阪商工会議所中小企業相談所長の中島要委員でございます。大阪広域水道企業団東部水道事業所長の渡邊昇委員でございます。中島委員、渡邊委員、今後とも、よろしくお願いいたします。

続きまして、大阪工業大学工学部教授の笠原伸介委員でございます。近畿税理士会枚方支部税理士の西園敬助委員でございます。公募市民の八木悦子委員でございます。公募市民の山城由美子委員でございます。

また、本日はご欠席されておりますが、近畿大学経営学部教授の浦上拓也委員、大阪ガス株式会社ネットワークカンパニー北東部導管部長の西浦克敏委員、大阪市建設局総務部下水道経営担当課長の名倉義人委員、以上11名でございます。今年度末のご任期までの間、よろしくお願い申し上げます。

次に、本日の上下水道局の出席職員を紹介させていただきます。経営戦略室長の木村聡でございます。そのほか、本日出席の上下水道局職員の紹介は、誠に失礼ながら、時間の都合上、省略させていただきます。なお、配席図をお配りしておりますので、ご参照ください。

次に、本審議会の公開・非公開につきまして、ご確認をさせていただきます。公開の場合は、本審議会の傍聴を認めることとなります。審議会条例第8条第1項に基づき、審議会の会議につきましては、原則公開することとしております。また、同条ただし書きにより、非公開とすることができる場合もございますが、今回のご審議いただきます案件につきましても、これまでの審議会と同様、非公開にできる事項には該当しないことから、「公開」が適切かと考えております。これらのことから、公開の取扱いとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

しょうか。

(異議なし)

特にご異議がないようですので、本審議会は公開するものとさせていただきます。それでは、傍聴希望者の確認をさせていただきます。

(2名入場)

次に、本審議会の会議録でございますが、これまでと同様に、発言委員名の記載、発言内容の全文筆記に近い要約筆記で作成し、公表させていただきます。また、会議録を正確に作成するため、会議内容の録音をさせていただきます。

それでは、会長、よろしく申し上げます。

2 案 件

真山会長： まず案件（1）枚方市水道ビジョン 2022・枚方市下水道ビジョン 2022 の策定についてです。事務局からご説明をお願いいたします。

事務局： （枚方市水道ビジョン 2022、枚方市下水道ビジョン 2022 の策定について説明）

真山会長： では、ただいまご説明いただきました内容につきまして、委員の皆さんからご質問などございましたら、お願いいたします。

山城委員： ご説明ありがとうございます。いつもよく分かるようにしてくださっていると思っています。今、私が気になっているところが、今年の6月の枚方市の議会で、中宮浄水場の更新事業についての質問がありました。現在、新しい中宮浄水場は、DBO方式で作られるというふうにお聞きしているんですが、その進捗状況を教えていただけますでしょうか。

事務局： ご質問の中宮浄水場につきましては、今、業者の選定を行っております。先日、（審査会から）答申をいただいております。今後、DBO方式で更新、またオペレート、運用を開始していくことになっております。

山城委員： 続いてよろしいでしょうか。今、令和3年度中の契約とお聞きしましたが、もしそれが契約になった場合に、いつから運営がスタートするのでしょうか。まだ、できていない状態ですよね。

事務局： 更新につきましては、設計と工事で約5年かかります。そのあと20年

間の運用になりますので、契約後、今年が令和3年でございますので、完成が令和8年、9年、そのあと運用が始まると考えております。

山城委員：

これも官民連携の一部ではないかと思っているんですが、20年間の契約になると、市民としては、ビジョンにもありました技術の継承大丈夫なのかなって非常に心配になるのですが、それに対して、どういうふうに枚方市は対策をとっていかうと思っていられるのでしょうか。

事務局：

技術の継承でございますが、先ほどの中宮浄水場の運用が20年委託契約となっております。現在も、1日のうち3分の2、勤務時間外の17時半以降につきましては、委託業者で中宮浄水場の運用を行っております。それを拡大しまして、委託業者で1日中の運用を行うということになっておりますが、技術継承の点におきましては、しっかりとその委託のモニタリングをしていくこと、また直営での工事発注は残りますし、中宮浄水場以外の施設の更新工事、また修繕等には職員が携わっていきますので、その中で技術継承が行われると考えております。

山城委員：

先日、そのことについてお話を伺ったなかで、枚方市が担うところもたくさんあるんだと、まだ管路の整備等もあるんだということをお聞きして、少しは安心したんですが、一般市民の関心は、やっぱり安心できる上下水道の維持運営だと思うんですね。なので、DBOになるというふうに今話が進んでいますが、もっと枚方市民に、その内容についても発信、ご説明をお願いしたいと思っております。

事務局：

ご意見をしっかりと今後に活かしていきたいと思っております。ありがとうございます。

真山会長：

大変重要なご指摘をいただきまして、ありがとうございます。コスト削減というのは、大変重要な課題なんですが、そのことが持続性とか技術継承という面でマイナスに作用する恐れもありますので、十分に配慮していただくということが重要だと思います。

ほかに、いかがでしょうか。

渡邊委員：

私からは、どちらかという表現の方法に近いような内容になるんですが、このビジョンは、いろんな立場の方、当然市民、お客様も含めたいろんな方々に、水道と下水道でやる内容、これからの方向性みたいなものをご理解いただくというのが趣旨だと考えておりますので、できるだけ分かりやすい見せ方をされたほうがいいのかと思っています。

水道と下水道の両方とも、今抱えている課題であるとか現状の説明が一番初めに文章で書いていられるんですけど、ここに例えば人口の

減少であるとか管路の老朽化、施設の老朽化、下水道でしたら普及率の向上もあるかもしれませんが、そういうのをグラフなどでお見せした方が、人口減っているんだな、大変なんだな、料金収納落ちているんだなと、文章よりもパッと分かるのかなと思います。たくさんのグラフをいれる必要はないと思うんですが、いくつか入れることによって直接この内容をご存じない方でも、パッと見て理解しやすくなるんじゃないかなというふうには考えております。

あと、水道でいいますと7ページの持続のところでは理想像ということで取り組みの方向性を書かれているんですが、たぶん10個くらいあって、ざっと並列で書かれていらっしゃるので、初めから後ろまで全部読まないで中身伝わってこないのかなと思います。下水の方は中見出しなどが入っているんですけども、ここをいくつかのカテゴリーに分けて中身こういうことですよ、環境負担の低減、経営健全化の推進とかカテゴリーに分けて、いくつかの項目を書いていますという立て付けにすると、パッと見た時に、何が書いてあるのかなというものが、分かりやすいのかなというふうに思いました。

最後にもう一つだけ、これも見せ方なんですけど、8ページで、水道の8、下水もありましたけど、ビジョンの推進と見直してという欄で、目標を設定して、推進して、内部評価・外部評価を受けて、それをまた反映して、次の年というPDCをまわすみたいなお話があったと思います。そこに、内部評価とか外部評価の内容を、次の年の目標設定に反映しますみたいな矢印のようなものがあれば、らせんのようにぐるぐる回って、よりよい方向に進めていきますというのが、分かるのかなというふうにも思いました。ちょっと具体的に書きにくいところがあるかもしれませんが、工夫していただけたら、より分かりやすくなるのかなと思います。以上です。

事務局： 事務局のほうでも今いただきましたご意見を検討しまして、工夫をしていきたいと考えております。

真山会長： ありがとうございます。少しでも分かりやすいほうがいいということ、あるいは、グラフ等でビジュアルに論点が伝わるような形で整理するなど工夫を一層こらしていただければと思います。

ほか、いかがでしょうか。

八木副会長： 少しだけ、お考えをお伺いしたいんですが、水道の持続性の中で、広域連合、持続的な運営体制の構築がありますが、具体的に大阪広域水道企業団からの水と自己水源とあると思うんですけども、今後どういう割合になるという見通しでしょうか。広域水道に依存度を高めていくのか、それとも自己水源を拡張するのは難しいかもしれませんが、ど

うするののか。そのあたり、なにか将来的なビジョンとしてお持ちでしょうか。

事務局： 事務局からお答えをさせていただきますが、中宮浄水場につきましては更新を進めております。そういったことから、今後も中宮浄水場の自己水と、それから企業団の受水は引き続き、行っていくことになるかと思えます。

八木副会長： 量的にどちらかを増やすということではなくて、現状どおりというお考えですか。

事務局： 受水の割合につきましては、今後、自己水というものの扱いを考えていくということではあると思えます。割合につきましては、今後、検討しながら進めていくということになると考えております。

八木副会長： 分かりました。以上です。

真山会長： ほかの方いかがでしょうか。

山城委員： 今、すごい水道管とか下水道管が老朽化して、変えないといけない時期にきていると思うんですが、枚方の場合は、やはりお金がすごいかかると思うんです。その時に、市民としては、例えばこの前和歌山であったような一週間くらい断水が起こるようなことがあってはいけないと思っているんです。大阪府内では、枚方はかなり、水道料金も3番目くらいで安いと聞いているんですけども、安いのはすごく有り難いんですが、もし本当に変えないといけないものがたくさんあるのであれば、そういった実際こういうお金がかかるんだということを市民にお知らせして、水道料金の値上げ、急に聞かされたら、びっくりすると思うんですけども、やっぱり徐々に世の中がそうなっているのを皆さんご存知だと思うので、そういう発信をしていった方がいいんじゃないのかと思っています。

事務局： ありがとうございます。委員ご指摘の情報発信につきまして、安全のところに、積極的な広報活動と記載しております。これは、安全だけでなく、強靱・持続にもつながることだと考えておりますので、市民の皆様、お客様に、しっかりと情報発信しながら、ご理解をいただき、水道事業を持続していかなければならないというふうに認識をしております。

真山会長： よろしいでしょうか。ほか、いかがでしょうか。

笠原委員：

実は事前説明の時にも、ちょっと説明はしていただいたんですが、取り組みの方向性という記述内容に関してなんですけども、水道ビジョンについては、記載されている内容が割と具体的で、今後どういうところを、優先的に手をつけていくのかというような方向性が割と見やすいなという印象があったんですが、一方で下水道のほうが、6ページ7ページあたりの記載内容がわりと一般的なことが全般的に併記されているような印象を持ちました。枚方市の下水道事業として、今後これもやりますあれもやりますと全部書かれてあるというような印象を持ったんですけども、枚方市として置かれている状況とといいますか、下水道に関して、置かれている状況が他市とは違うと思いますので、例えば雨水事業だったら、こういうことを優先的に実施していくとか、汚水事業についても、結果的には全部やられるとは思いますが、どういうところを中心にやっていくのか、もう少し見えるような形で示していただけるとよいのかなという印象を持ちました。

事務局：

ご指摘ありがとうございます。たしかに、まだ下水道のほうは整備が完全にしきっていないものですから、整備をしつつ、ただ最初に整備したものは古くなってきているので、そちらのほうの改築なり、修繕の取り組みをしていくということがありますので、ちょっと全体的に抽象的な書き方になってしまっています。整備につきましては、どういうところが残ってまして、どういうところを取り組んでいきますということ、雨水整備につきましては、どういうふうなところに取り組んでいくといった形で、もう少し具体的な表現を考えさせていただきます。ありがとうございます。

真山会長：

ありがとうございます。たしかにご指摘のとおり、下水道ビジョン6ページ、7ページに書いてあることは、当然やるべきことがざっと書いてあるだけになっています。ビジョンですので、あまり具体個別、具体的な事業を列挙する性格のものではないと思いますが、今お答えにありましたように、可能な範囲で、どういう取り組みを具体的に優先的に行うのが、もう少しよく見えるように工夫や努力をしていただければと思います。

ほか、いかがでしょうか。

山城委員：

ちょっと間が空いてしまったんですけども、去年コロナ過で減免処置を枚方市はとられたと思うんですが、そういったことって、すごく好事例でいいお話だと思うんですね。ですが、ご存知の方もそんなにたくさんいらっしゃらないですし、もっと水道局のやっていることとか、こういう良いこともしてるんだよじゃないですけど、そういうことももっと

知ってもらいたいと思っています。

事務局：

ありがとうございます。ただいまの意見につきましても、先ほどと同様となるんですが、積極的な広報活動ということで、情報発信をしていくものだと考えています。

真山会長：

ありがとうございます。では、ほかにいかがでしょうか。

八木悦子委員：

積極的な広報活動ということで、前回のパブリックコメント実施時にも、Twitter など SNS も活用されているとのことだったのですが、私自身は存じていませんでした。

今回の審議会資料はすごく早く作成していただいて、審議会の1週間前にいただいたので、しっかり内容を確認することができました。また、事前説明という初めての試みもしていただけて、私としてはすごく理解しやすかったです。説明していただいた中西さん、馬渡さんの熱量ですとか、このビジョンへの想いだとか、真摯に取り組んでおられることが伝わってきて、すごく好印象も受けました。

ですので、これからこの素案について、パブリックコメントも実施されていくと思うのですが、インスタグラムのライブですとか、YouTube のライブなどで、音声にのせて説明されることもしていただけると、文字だけよりも伝わる人、伝わる人がたくさんあるのかと思います。1つ提案として、SNS のライブも使っていただけたらと思います。以上です。

事務局：

しっかりと検討させていただきます。ありがとうございます。

真山会長：

今、どこでもパブリックコメントをすることは定着しておりますが、一方で市民参加の手法としては、単なるガス抜きにすぎないという批判もありますし、さらにはそもそもパブコメをやられていること自体をなかなか知る機会がないというか、情報として伝わっていないということもありますので、今のご提案のようなさまざまな工夫をしていただければと思います。

ほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。特にご発言のご希望ないようですので、よろしければ質問あるいはご意見収集をこのへんで終わらせていただきたいと思います。

それでは、今、素案という形でご提案いただいておりますので、本日いただいた様々なご意見、アドバイス等につきましては、事務局のほうでご検討いただきまして、素案を案にする段階で可能なものについては、反映していただければと思います。

本日の案件については、以上ですが、その他事務局から何かございま

すでしょうか。

事務局： 次回、第2回審議会の開催につきましては、後日、事務局から日程調整のご連絡をさせていただきたいと思います。
会長いかがでしょうか。

真山会長： 委員の皆さん、次回、第2回審議会の開催日については、後日、事務局から日程調整していただくということによろしいですか。

(異議なし)

3 閉 会

真山会長： それでは、案件については、以上で終了しました。事務局お願いします。

事務局： 正副会長をはじめ委員の皆様のご協力により、円滑に議事を進めることができました。誠にありがとうございました。委員の皆様には、大変貴重なご意見やご提案をいただいたと受け止めています。

本日いただいたご意見等をもとに、次回の資料も含め、考えてまいりますので、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

真山会長： 本日は長時間にわたりまして、有り難うございました。以上で、散会とさせていただきます。